



六階の医療療養病棟は五十一床あり、看護師とヘルパー二十八人で対応しています。気管切開や酸素吸入で寝たきりの状態、がん末期（ターミナルケア）など患者はさまざまです。

中心静脈栄養、おなかの穴から栄養を取り入れる胃ろうが必要な患者もいます。入院当初は自力で食事ができない患者でも、ケアを続けると、食事が取れるようになることもあります。患者自身の力を引き出せるか、看

看護部 医療療養病棟

36

6階の医療療養病棟で患者らに話し掛ける看護師⑥＝名古屋市中区の中日病院で



護力にかかっています。きます。

当院では入浴の機会を増やし、体全体を清潔に保つように努めます。湯船で温まり、気持ちもすっきりするせいか、患者の表情が生き生きとして

床ずれの処置は、頻繁な洗浄と体位交換で治しな洗剤やかん腸を使用せず、自然な排便を促します。（押部優子看護部医療療養病棟看護師長・談）

ケアで表情が生き生き

中日病院 名古屋市中区丸の内3の12の3。 中日病院＝052(961)2491

では、薬に頼らず治すよう努力しています。

食事はデイルームで集まって食べるので、良い刺激になります。そのため部屋から出て車いすやつえを使って移動するのも大事な時間です。

多くの医師と相談できるのが当院の強み。今後も他職種と協力し、患者ごとにどうケアすれば回復が早まるか、快適に過ごしていただけるかを考えていきたいと思いま